

コンベンション施設整備業務 (予算額 30,577千円)		総合政策部企画課 公民連携係(23 - 6652)
財源内訳	一般財源 30,577千円	
支出内訳	2款1項11目 企画費 / 公正証書作成手数料 109千円、登記用図面作成委託料 904千円、契約等支援委託料 7,964千円、土地賃借料 10,800千円、契約保証金 10,800千円	

【事業概要】

「乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画（QURUWA戦略）」の拠点施設として、「太陽の城跡地（岡崎市明大寺本町一丁目地内）」を活用し、1,000人規模の会議や式典、レセプションなどが開催できるコンベンション施設を建設するとともに、「上質なおもてなし」を提供できるホテルの誘致を行い、地域経済の活性化を目指します。また、乙川河川空間を活用し、市民や来街者の暮らし、生きがい、健康づくり等に資する事業を、公民連携事業として一体的に進めます。

【令和2年度事業内容】

- ・選定事業者との事業契約締結
- ・事業用地の一部（下図斜線部分）について、所有者と事業用定期借地権設定契約を締結



【事業スケジュール（予定）】

- 令和2年度 事業契約締結、設計、既存施設解体工事、事業用定期借地権設定契約締結等
- 令和3年度～ 建設工事
- 令和5年4月 開業



ふるさと納税活用業務 (予算額 32,098千円)		総合政策部広報課 シティプロモーション推進係 (23 - 6600)
財源内訳	一般財源 32,098千円	
支出内訳	2款1項11目 企画費 / 特別旅費 26千円、印刷製本費 189千円、通信運搬費 1,300千円、口座振替手数料 4千円、広告料 1,210千円、 収納取扱手数料 358千円、ふるさと納税活用支援委託料 29,011千円	

自らが思うふるさとを選択して寄附をすることでそのまちを応援できるふるさと納税制度を活用し、寄附者に対する返礼品の贈呈などを通じて岡崎ファンの拡大を図り、魅力づくりを進めます。



ポータルサイトの活用

集客力の高いポータルサイトを活用し、多くの寄附を集めていく

ポータルサイト名	開始時期
ふるさとチョイス	平成27年4月
さとふる	令和元年11月
楽天ふるさと納税	令和2年4月予定
ふるなび	令和2年4月予定

魅力ある返礼品の発掘



さまざまな地場産品を返礼品に加えることで、本市の新しい魅力を発信する。

シティプロモーション推進業務(予算額 45,197千円)		総合政策部広報課 シティプロモーション推進係(23 - 6600)
財源内訳	諸収入 1,700千円、一般財源 43,497千円	
支出内訳	2款1項11目 企画費 / 特別旅費 276千円、消耗品費 4,140千円、印刷製本費 1,584千円、広告料 2,299千円、洗濯料 6千円、ホームページ運用管理委託料 440千円、シティプロモーション活動推進支援委託料 35,132千円、著作権使用料 1,320千円	

第2期アクションプランの最終年度として、20代～40代の若い女性を中心とした関係市民の獲得を目指します。

第2期アクションプラン(2018～2020年度)の目的：「岡崎を好きになってもらう」×「岡崎との関係を深めてもらう」＝「関係市民を増やしていく」

情報コミュニケーションの充実



WEB「岡崎ルネサンス」の運用

女性向けメディアと協力して魅力情報を掲載した記事を作成、発信する。

SNSの活用

インスタグラム「今日も岡崎」で若い女性をターゲットにした写真での魅力発信をする。

動画の配信

WRCラリージャパンなど、2020年に行われる大規模イベントに絡めた岡崎市のPR動画を作成し、配信する。

情報の拡散

作成した魅力情報をその他SNSや広告メディア等に掲載する。

プロモーションサポーターの育成・活動促進

サポーター組織「岡崎カメラ」

自立を目指した活動の支援を行う。

写真を通じて他地域で魅力発信を行う団体や大企業の地域貢献活動と連携し、大都市圏で行う写真展などへ出展する。

社会福祉センター整備業務(予算額 166,727千円)		福祉部地域福祉課 総務施策係(23 - 6922)
財源内訳	繰入金 130,000千円、一般財源 36,727千円	
支出内訳	3款1項5目 社会福祉センター費 / 消耗品費 822千円、廃棄物処理手数料 1,631千円、測量調査委託料 6,897千円、施設整備工事請負費 157,267千円、 庁用器具購入費 110千円	

事業概要

勤労文化センターを活用し、社会福祉の充実を目的とする施設「社会福祉センター」の整備を行います。センター内には、市民へ有料貸出する活動室等を設置するほか、社会福祉法人 岡崎市社会福祉協議会と公益社団法人 岡崎市シルバー人材センターが事務所を設置します。

改修工事の内容

<スケジュール(予定)>

- ・令和元年度 建物改修工事实施設計
- ・令和2年度 建物改修工事、周辺道路附属物整備工事
- ・令和3年4月 社会福祉センター供用開始

<工事の概要>

会館内のユニバーサルデザイン化

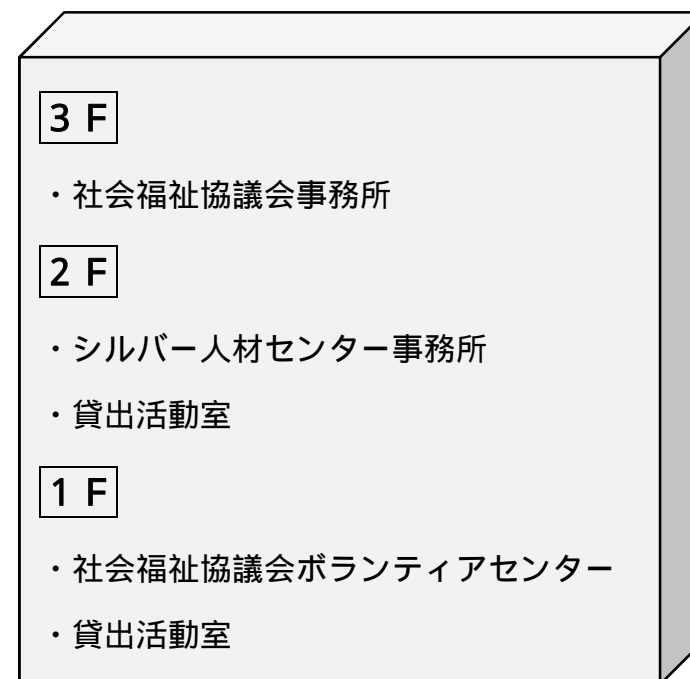
エレベーターの拡張、トイレ改修、手すり・点字ブロック等の新設

駐車場整備

車いす用駐車区画の新設、スロープ歩道の新設、防犯カメラの新設、外灯の改修

周辺道路附属物整備

点字ブロックの新設、施設案内標識の新設、防犯灯の増設



令和3年4月開館

総合学習センター施設整備業務(予算額 545,148千円)		教育委員会事務局学校指導課 (総合学習センター)(83 - 7773)
財源内訳	市債 233,000千円、一般財源 312,148千円	
支出内訳	10款4項5目 教育研究費 / 消耗品費 17,977千円、通信運搬費 330千円、通信設備架設料 56千円、設備等撤去委託料 55千円 多目的ホール設備整備委託料 6,653千円、施設整備工事請負費 481,838千円、庁用器具購入費 1,862千円、機械器具購入費 36,377千円	

令和3年4月リニューアルオープン

多目的ホールを有する教育の拠点施設として生まれ変わります。



▲多目的ホール外観イメージ(西方向から)



▲多目的ホール内観イメージ



▲多目的ホール外観イメージ(北東方向から)

多目的ホール棟

- ・収容座席数 410席
- ・講演会、研修会、式典、発表会等に利用
- ・3分割で1室100席の会議室に利用
- ・音響・照明・空調も分割可

研 修 棟

- ・2階に実技研修ができる研修室
- ・3階にPC配備のICT研修室

そ の 他

- ・研修棟外部改修
- ・駐車場の区画増